

Children Solutions!

世界水フォーラムへの派遣を通じた 次世代水オピニオンリーダーの育成



FOREM

Foundation of River & Watershed
Environment Management

JAPAN

河川環境管理財団



MARSEILLE, FRANCE '12

TIME FOR SOLUTIONS

世界子ども水フォーラムの歴史

	世界水フォーラム	世界子ども水フォーラム	フォローアップ大会
1997		1st★ 	
2000		50人★	
2003	京都		2003★
		2nd 	2004★
2006	メキシコ	7人★	2005★
		3rd 	2006★
2009	イスタンブール	6人★	2007★
			2008★
2012	マルセイユ	INVOLVING CITIZENS IN THE FORUM Guided to structure the content to the Forum aiming to identify solutions for water through a Children's Forum, a Youth Forum, the Water and Citizen's House the Water	2009★
			2010★
			★
			2012

15p.1st Announcement

2011 Jan

★ 子どもの水辺サポートセンターが事務局

「世界子ども水フォーラム・フォローアップin東京2011実行委員会」を組織

実行委員が直接指導

大江 近 全日本中学校長会 会長
沖 大幹 東京大学 生産技術研究所 教授
◎北野 大 明治大学 工学部 教授
小池 剛 国土交通省 河川環境課長
竹下 珠路 ガールスカウト日本連盟常任理事
藤兼 雅和 東河川環境管理財団
吉富 友恭 東京学芸大学
環境教育研究センター 准教授



(○:委員長 五十音順 敬称略)

丸一年がかりのプロジェクト

2011							2012				
A	M	J	J	A	S	O	N	D	J	F	M

第一回 4月6日



募集期間: 4月7日~5月25日
水の作文

中高生

Elementary	Junior High			High School			University
←12	13	14	15	16	17	18	→

大学生

ファシリテーター

Elementary	Junior High			High School			University
←12	13	14	15	16	17	18	→

東京からマルセイユへ
「水」に興味のある中高生 大集合

この大会は第6回世界水フォーラム（2012年3月にフランス・マルセイユで開催）に派遣する候補者の選考も兼ねています。 日本最大級の子ども水会議

From Tokyo To Marseille - Children's World Water Forum Follow-up in Tokyo 2011

「春の小川」の渋谷に集合!

世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011

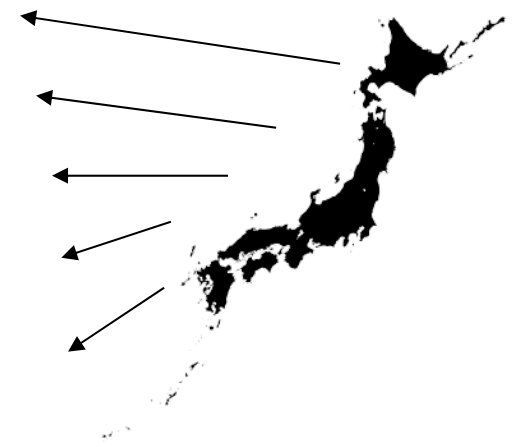
委員長 花野 次
明治大学理工学部教授

8/2-4

主催: 独立行政法人 国土交通省河川管理振興機構 国土インフラセンター青少年総合センター 東京理科大学
主協: 世界子ども水フォーラム・フォローアップ実行委員会 共催: 財団法人環境教育センター 子どもの水辺サポートセンター



参加者選抜



全国から59の応募

6月9日
 第二回実行委員会にて



32人の中高生を選抜

2011					2012						
A	M	J	J	A	S	O	N	D	J	F	M

32 人の中高生



世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011



大学生14人は、 ファシリテーターとして

うち5名は、中高生時代に国内大会に参加経験あり



継続が生み出す効果



メキシコ大会での日本代表



世代間の共有が生まれる！

世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011



イスタンブール大会での日本代表

ファシリテーター講習会

2011

2012

A

M

J

J

A

S

O

N

D

J

F

M

7月9, 10日

アイスブレイク方法



Eボートの組み立て方等



August 2nd

水災害



体験活動



水環境



5 Groups
5 Water Issues



Find out the SOLUTION!

水資源



水文化



MARSEILLE, FRANCE '12

LE TEMPS DES SOLUTIONS

ファシリテーターである大学生が会議を運営・進行

8月2日

アイスブレイクの様子



議論

8月3日



墨田川でのEボート体験



8月4日

グループでの
プレゼンテーション



実行委員による
選抜



6人の子どもが代表候補に

6人の候補者 世界大会への準備ができるか？



第一回 勉強会

10月29、30日

東京学芸大 吉富准教授
(実行委員)による講義

イスタンブール大会の
経験の共有

プレゼン準備 (日本語)



第二回勉強会(英語)

1月8、9日

東京大学沖教授(実行委員)
による英語での講義



ネイティブの英語先生による
英語でのプレゼン準備



今回は“子ども水フォーラム”は開催されず 公式セッションをリクエスト

	世界水フォーラム	世界子ども水フォーラム	国内大会
1997		1st★ 109人32カ国	
2000		 ← 50 from Japan ★	
2003	京都		2003★
		2nd 107人29カ国	2004★
2006	メキシコ	 ← 7 from Japan ★	2005★
		3rd 150人21カ国	2006★
2009	イスタンブール	 ← 6 from Japan ★	2007★
		★ Children's Solution! Let's Discuss on Water 15th March 11:00-13:00	2008★
2012	マルセイユ	← 6 from Japan ★	2009★
			2010★
			2011★
			2012

9回の国内大会で
403 中高生
116 大学生

★ 河川環境管理財団
子どもの水辺サポートセンターが事務局

Children's Solution!

3月14日 13:00-14:20

日本パビリオン

3月15日 11:00-13:00

公式セッション

Yuriko



: How to decrease the victims of
Water-related Disasters



Miho



: Hands-on activities at the river



Yuki



: Living together with aquatic life



Ken



: River Connect Us



Rie & Souta



: Water Conservation is Part of
Japanese Culture



3月1日 派遣 について 記者発表

第6回世界水フォーラム(マルセイユ)への子どもたちの参加について

水に関する世界最大級の国際会議である「第6回世界水フォーラム」が3月12日から3月17日にかけてマルセイユ（フランス共和国）で開催され、日本の中学生・高校生を代表して6名が参加します。

2011年夏、日本全国から選ばれた水や川に関心のある中高生たちが東京に集まり、水問題とその解決策について、2泊3日で真剣に議論を行いました。

今回その結果を五つのテーマに分け6人の代表者が世界に向けて発信します。

世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011 実行委員会

国交省記者クラブに投げ込み

派遣者も情報発信



3月7日 榊原 純夫・ 半田市長に出発の報告



第6回世界水フォーラムで日本の子どもたちが、 「子どもたちの解決策」を発表します。

※第6回世界水フォーラム：フランス・マルセイユで開催される世界最大の水に関する国際会議

ツイート 3 いいね! 24

2011年夏
2泊3日で行

財団WEBページ開設

いて、



3月2日 毎日新聞 北九州版



3月7日 北海道新聞 函館版

ストーリーマー

Children's Solution!
Let's discuss with 6 Japanese children!

1 Water-related Disasters
2 Hands-on activities
3 Living with aquatic life
4 River Connect Us
5 Japanese Water culture

Organized by
 FOREM
 RIHN

配布資料

Solution 1
How to decrease the victims of Water-related Disasters
(Comment réduire le nombre de victimes des catastrophes liées à l'eau.)

Solution 2
Hands-on activities at the river
(activités rivières)

Solution 3
Living together with aquatic life
(Vivre ensemble avec le monde aquatique)

Solution 4
River Connects Us
(Des rivières qui nous relient)

Solution 5
Water conservation is part of Japanese culture
(Préserver l'eau fait partie de la culture Japonaise)

Yuriko KOBAYASHI, Miho TANAKA, Yuki SHIGEMASA, Kentaro NAKANO, Rie MATSUZAKI, Sota TSUKURIMICHI



3月13日 韓国水フォーラム主催の水教育セッションで
 今回の取り組みを紹介
 (韓国は2015年の世界水フォーラム開催国)

Facebook を立ち上げ、現地から子どもたちが 随時情報発信 「いいね！」100を目標に！！

The screenshot shows the Facebook interface for the page '世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム・フォローアップ'. The page features a cover photo of a woman speaking at a podium with a 'WORLD WATER FORUM' logo, and a large group photo of children and adults. The page name is '世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム・フォローアップ' with 101 likes and 79 people talking about it. The community description reads: '水に関する世界最大規模の国際会議「世界水フォーラム」と日本国内における「世界子ども水フォーラム・フォローアップ」についてのfacebookページです'. The page also includes a search bar, navigation tabs, and a 'カバーを変更' button.

世界子ども水フォーラム
& フォローアップ
facebook.
フェイスブックページ



3月14日 日本パビリオンでの発表の様子 国交省佐藤技監、石川審議官など多くの方々に参加いただきました！



10分間の英語でのプレゼンテーション

日本パビリオンの集客に貢献！！



3月15日 公式セッションでは、浴衣、道着、法被など日本をアピールする衣装で発表。



約50人(主催者推定)の参加者との間で熱心なディスカッション



参加いただいた方々に団扇をプレゼント

セッションに来ていただいた石川審議官



たくさんの人々と交流しました。



プロジェクトWETインターナショナル
副代表 John Etgen氏



ユネスコ-IHE Institute for Water Education
NAGY Andras氏



昼食会場でトルコの
エンジニアの方と



ハイチ、マリの参加者(ユース)と



「水と災害」ハイレベルパネルについて



小林タ里子

私はchildren's solutionで津波などの水に関する災害について発表をしました。その中で、私は中高生の活動として勉強会を開くことを挙げました。多くの人に災害の危険性を伝えることは非常に重要であると思います。しかし、皇太子殿下下のプレゼンテーションを見て、教えている内容をもっと深めることができるのではないかと考えました。今回のプレゼンテーションでは、歴史から学ぶことが一つの解決策(solution)であることが分かりました。私はチリで起こった津波が日本に到達したことは知っていましたが、そのことを誰かに伝えようとはしませんでした。さらに、その津波は私たちが生まれるずっと前に起こったもので、最近の若者にはあまり知られていないに思えます。ですから、このように津波の歴史を勉強会で教えることが必要であると感じました。そうすれば、多くの人にもっと深い知識をもってもらうことができます。歴史を教え、津波が起こったときに誰も犠牲がでないような災害の備えができればいいと思います。

「水と災害」ハイレベルパネルについて



田中美穂

今回、「水と災害」ハイレベルパネルという、とても中身の濃いお話や、ディスカッションを聞かせていただきました。

このパネルでは、様々な意見や解決策などができ、少し難しいお話かなと思う時もありましたが、幅広い知識が得られました。

私は、いろいろな方々のお話を聞いている時、観点や視点という言葉がとても印象に残りました。

自分の今できる力をすべて出して、世界の水のために貢献するためには、観点や視点の幅を広げ、違う分野で活躍しているたくさんの方々と協力し合いながら活動をしていかなければならないという意見には、とてもうなずけました。

今までの偏見にとらわれず、マルチの観点で世界の仲間と活動することは、私が水フォーラムに参加するまでのフォローアップ大会や、勉強会でのたくさん仲間とのディスカッションの経験から、とても大切なことだと賛成します。

私の解決策として、これからもこのような活動を継続し、水フォーラムでの経験を生かしたいと思っています。

今回のパネルに参加できたことを、とてもうれしく思います。

ありがとうございました。

「水と災害」ハイレベルパネルについて



重政 祐貴

3時間という長い時間ながら大変面白い内容で聞き入っていました。
残念ながら皇太子さまのお話はビデオでプレゼンとなってしまいましたが、大変貴重なお話、プレゼンを見させていただきました。

やはり、日本の東日本大震災における対応は各国の注目の的でした。日本人として改めて誇りを感じました。

討論中、“協力”の二文字が印象に残りました。

水問題の解決において、またそのほかの問題解決においても“協力”は最も大切なことだと思います。

絆という科学では説明できないことこそ大切なことなんじゃないかなと思います。

また、救援活動をしたくてもできないという現状が少なくないようで大変共感できました。今回の震災においても僕(たち)は東日本へボランティアへ行く機会がなくやるせない思いをしていました。

そういう現状を打破することも、水害対策、防災に対し重要な手立てだと思います。

何より大切なのは行動力と、各国での活動に対する理解だと思います。

「水と災害」ハイレベルパネルについて



仲野健太郎

私はパネルディスカッションに参加して、防災・減災のためには皇太子様がお話しされたように、人々が災害について多くのこと過去から学び、備えていく必要があると感じました。近年の異常気象でどこでも災害は起こりうるため、すべての人が災害について人ごとと考えずに自らのこととして認識し、災害発生時に備える準備が必要だと思います。

全員が災害について認識するためには、小さなうちから学校教育などの中で過去の災害についての知識を得て、今後発生する災害に備えておかなければなりません。私自身、中学校に入って水に関する活動を始めるとまで災害などについても全く知識がありませんでしたし、私の友達もほとんどが全く災害の知識を知りません。だから、小さなうちから目の前に迫っていることについて、真剣に、興味を持って考えるために、これからの未来を担っていく子供たちが災害について継続して学び、行動を起こしていける環境を私たちが作っていかなければならないと思います。

「水と災害」ハイレベルパネルについて



松崎理恵

日本は今、世界から注目されています。とても巨大な地震があった後、いかに回復していくかが注目されています。

皇太子殿下の話の中で、印象に残っている言葉があります。それは"Learning from history is essential when addressing mega-disasters because similar events can be found only after a long span of time."です。この後に皇太子殿下は貞観地震を、過去の巨大な地震の例としてあげられました。日本は貞観地震から何かを学び、次の災害を防ぐために何かを行ったのでしょうか。

ではなぜ、日本は東日本大震災を防げなかったのでしょうか？私はそれは、日本全体が"平和ぼけ"しているからだだと思います。"日本で地震は起こらない、起こったとしても日本は大丈夫だろう。"という気持ちで、solutionを考えても役には立ちません。だから今回もこのような大きな被害になったのだ、と私は考えています。

世界で環境問題や貧困問題が起こっている中で"日本は大丈夫だ"と国民が真剣に考えないのはなぜなのでしょう？特例国債を発行し続けている、総理大臣の支持率は低い中でもなぜ、"日本は大丈夫だ"と平然と生活できるのでしょうか？

このような日本の現状を変えるためには、日本はきっかけが必要でした。今回の東日本大震災が、今の不安定な日本を変えるきっかけになることを信じています。

日本特有のくせである、口約束は卒業しましょう。日本の文化である"思いやり"で東日本大震災を乗り越えつつ、世界で起こっている問題にも真剣に目を向けましょう。

そして初めて日本は"build a safer and better future for all"を、達成できたことになると思います。

皇太子殿下の話を知ることができて、幸せでした。貴重な経験を、ありがとうございました!!心から感謝しています。

「水と災害」ハイレベルパネルについて



作道 奏太

私は、このパネルディスカッションに参加して、各国の水と災害の問題について、皇太子殿下のビデオメッセージを拝聴させて頂きました。その中で陛下は、「水と災害は、今や、世界の持続可能な発展のため国際社会が正面から議論すべき主要課題の一つです。

皆さんと共に、私も災害の経験と教訓が世界に共有され、活用されるよう努力を続けていきたいと思っています。」と仰られていました。このお言葉を踏まえて、私は、水と災害を身近な問題として、災害はいつでも起きるものとして認識し、次の災害が起きた時に、これまでの災害の経験と教訓を活かすことができるように、自分自身で考えなければならないことは何か、世界各国の水問題解決のためには、自分がどのような行動をしなければならないか、その答えを見つけることを自分の課題とし、考えて行きたいと思っています。

今回の世界水フォーラムには、日本の6名の子どもの一員として参加しましたが、次回はユースの一員として参加し、世界の水問題解決のために頑張っている仲間と共に、水を考えて行きたいです。



小林 夕里子

今日は1日あっちこち見学しました。
バス運転手兼ガイドマンさんがいろんな説明してくれました。
山登りもして、いい運動になりました。

田中 美穂

古代ローマ最大の水道橋 ポン・デュ・ガールの見学をしてきました！
(いえ、視察、です。)

私たちが普段何気なく使っている水が、アヴィニヨンの町では
あんなに大きな水道橋を作らなければ供給できなかったというのには、
... とても衝撃を受けました。

水の大切さや、感謝の気持ちを持たなければな、と思いました。
また、橋がとても正確に造られていることにもびっくりです。
日本とは違った風景に、目が忙しい一日でした。

重政 祐貴

本日ポンデュガール橋(アヴィニョンの水道橋)と、アヴィニョン橋の視察をしました。

時間が少なくあまりじっくりと見学はできませんでしたが、科学の進歩と現在の水道の構造のありがたさというか、素晴らしさを感じました。

住む場所によって貧富の差が生まれる理由・原因を知ることができた気がしました。また、水道橋から見る景色は最高でした



仲野 健太郎

今日はTGVに乗って、アヴィニョンのポンデュガールを見学しました。ポンデュガールはローマ時代に建造された水道橋で、とても大きく、当時の数学、建築技術の発展の度合いがとてもうかがい知れる建物でした。この水道橋がかかるガール川は透視度が高く、気温が高かった今日は水温がとても心地よかったです。その後、アヴィニョンの市街地へ移動し、昼食をとった後、アヴィニョン橋を見学しました。TGVの時間が迫っていて、あまり見学する時間がなかったですが、橋の上に立つと、その町の歴史の深さを感じました。今日は、時間に追われてなかなかゆっくり見学する時間がなかったので、いつかゆっくり見学に行きたいです。

世界水フォーラム 公式ニュースレター(紙版)に日本の子どもたちの活躍が掲載！



Des jeunes japonais lors d'une conference
organisee par le Forum de l'eau coreeen.

Facebook 3月19日に、「いいね！」 100を突破！！！！

facebook 検索

世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム 世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム 世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム

BRIDGING DIVIDES FOR WATER

The bottom of a dam

World Water Forum & Children's World Water Forum Follow-up

世界子ども水フォーラム・フォローアップの発表2011

seri

世界水フォーラム

世界水フォーラム&世界子ども水フォーラム・フォローアップ

いいね！ 101人・話題にしている人79人

コミュニティ

水に関する世界最大規模の国際会議「世界水フォーラム」と日本国内における「世界子ども水フォーラム・フォローアップ」についてのfacebookページです

基本データ

写真

いいね! 101

イベント



MARSEILLE - FRANCE

TIME FOR *SOLUTIONS*

MERCI / THANK YOU

worldwaterforum6.org
solutionsforwater.org

